

教育委員会の
点検・評価報告書

平成27年4月
茂原市教育委員会

目 次

1	点検・評価の趣旨等	3
	(1) 趣旨	3
	(2) 目的	3
	(3) 対象	3
	(4) 点検・評価の流れ	3
	(5) 教育委員会委員（平成 27 年 4 月 1 日現在）	4
2	教育委員会の活動状況	4
	(1) 教育委員会会議	4
	(2) 教育委員会会議以外の主な活動状況	7
3	各種施策について	9
	(1) 後期基本計画に基づく施策表	9
	(2) 茂原市の教育方針及び重点施策	10
4	各施策の点検評価報告書	15
	1-1 生涯学習の推進	15
	1-2 学習機会の充実	16
	1-3 支援システムの整備	17
	2-1 幼児期教育の充実	18
	3-1 教育環境の整備	19
	3-2 通学環境の改善	20
	3-3 教育内容の充実	21
	3-4 障害児教育の充実	23
	3-5 教職員の資質の向上	24
	3-6 学校給食の充実	25

4-1	社会教育施設の整備	26
4-2	社会教育の振興	27
5-1	スポーツ環境の充実	28
5-2	スポーツ・レクリエーションの振興	29
6-1	文化環境の整備	30
6-2	芸術文化の振興	31
6-3	伝統・文化の維持継承	32
7-1	青少年健全育成の充実	33

1 点検・評価の趣旨等

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することとされています。茂原市教育委員会では、この規定に基づき平成26年度における事務の管理及び執行状況について点検・評価を実施します。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同上第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

(2) 目的

教育委員会に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行うことで、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的とします。

(3) 対象

本市の「後期基本計画」並びに教育の総合的指針である「平成26年度茂原市の教育方針及び重点施策」に位置づけている18施策を対象とし、点検・評価を実施いたしました。それぞれの施策の課題等を明らかにするとともに、今後の方向性について示しました。

(4) 点検・評価の流れ

- ①担当課での報告書の作成
- ②教育委員会による点検・評価
- ③改善への取組
- ④議会への報告
- ⑤ホームページによる市民への公表

(5) 教育委員会委員（平成27年4月1日現在）

役職名	氏名	任期
教育長	内田達也	平成27年4月1日～平成30年3月31日
教育長 職務代理者	鈴木一代	平成25年7月1日～平成29年6月30日
委員	齋藤 晟	平成26年10月1日～平成30年9月30日
委員	足立俊夫	平成23年6月30日～平成27年6月29日
委員	鎌田俊郎	平成24年10月1日～平成28年9月30日

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会会議

平成26年度中に教育委員会会議は定例会12回と臨時会1回の合計13回開催しました。また、教育委員会と教員との相互理解を深めるため、新任の学校教諭、新教頭を対象に教育委員会会議の傍聴、会議終了後の意見交換等も行いました。

①開催回数（平成26年4月～27年3月）

	定例会	臨時会	計
回数	12	1	13

②議決事項等（平成26年4月～平成27年3月）

	開催日	議案番号及び議案名
4月定例会	4月24日	議案第1号 学校評議員の委嘱について 議案第2号 茂原市社会教育委員の委嘱について 議案第3号 茂原市公民館運営審議会委員の委嘱について 議案第4号 茂原市立図書館協議会委員の任命について 議案第5号 茂原市立美術館・郷土資料館協議会委員の任命について 議案第6号 茂原市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則を制定することについて

	開催日	議案番号及び議案名
		議案第7号 平成25年度地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項に基づく教育委員会の点検・評価について (報告事項：3件)
5月定例会	5月22日	議案第1号 茂原市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について 議案第2号 茂原市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正する規則の制定について 議案第3号 茂原市青少年指導センター運営協議会委員の委嘱について (報告事項：2件)
6月定例会	6月26日	議案第1号 学校給食施設検討委員会設置要綱の制定について (報告事項：6件)
7月定例会	7月22日	議案第1号 平成27年度使用教科用図書の採択について (報告事項：2件) (新任教頭7名傍聴)
8月定例会	8月21日	議案第1号 茂原市指定文化財の指定について (報告事項：4件) (新任教諭6名傍聴)
9月定例会	9月25日	議案第1号 平成26年度茂原市教育功労者被表彰者の決定について 議案第2号 茂原市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正する規則の制定について 議案第3号 茂原市学校給食施設検討委員会委員の委嘱について 議案第4号 茂原市立美術館・郷土資料館協議会委員の任命について (報告事項：3件) (新任教諭8名傍聴)

	開催日	議案番号及び議案名
10月定例会	10月30日	議案事項なし (報告事項：5件)
11月定例会	11月13日	議決事項なし (報告事項：5件) (決定事項：2件)
12月定例会	12月25日	議案第1号 茂原市教育委員会感謝状受賞者の決定について (報告事項：5件)
1月定例会	1月29日	議案第1号 茂原市東部台文化会館の管理に伴う茂原市教育委員会への事務委任について (報告事項：4件)
2月定例会	2月17日	議案第1号 教育委員会委員の辞職につき同意を求めることについて 議案第2号 茂原市青年館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を制定するよう市長に申し入れることについて 議案第3号 指定管理者の指定について議会の議決を求めるよう市長に申し入れることについて 議案第4号 指定管理者の指定期間の変更について議会の議決を求めるよう市長に申し入れることについて 議案第5号 長生郡市広域市町村圏組合規約の変更に関する意見について (報告事項：6件)
3月臨時会	3月11日	議案第1号 県費負担教職員のうち校長及び教頭の任免その他の進退に関する内申について 議案第2号 平成27年度教科用図書長生採択地区協議会規約の制定の承認について

	開催日	議案番号及び議案名
3月定例会	3月26日	議案第1号 茂原市東部台文化会館の管理及び運営に関する規則の制定について 議案第2号 茂原市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則の制定について 議案第3号 茂原市教育委員会会議規則の一部を改正する規則の制定について 議案第4号 茂原市教育委員会傍聴人規則の一部を改正する規則の制定について 議案第5号 茂原市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について 議案第6号 茂原市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について 議案第7号 茂原市教育委員会処務規程の一部を改正する訓令の制定について 議案第8号 茂原市青少年指導センター設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 議案第9号 茂原市立美術館・郷土資料館管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について 議案第10号 茂原市立小中学校の適正規模の設定について 議案第11号 茂原市スポーツ推進審議会委員の任命について 議案第12号 平成27年度茂原市の教育方針及び重点施策の制定について (報告事項：6件)

(2) 教育委員会会議以外の主な活動状況

教育委員は、教育委員会会議への出席の他に学校を訪問して教育現場の状況を把握するとともに、議案や教育課題などに対する理解を深め、多面的な角度から議論を行うため教科書採択会議や関係団体等が主催する研修会や総会などにも参加しました。

・学校訪問等

開催日	訪問先
平成26年5月15日	二宮小学校・西陵中学校・緑ヶ丘小学校・富士見中学校 五郷幼稚園・本納小学校
平成26年5月16日	南中学校・萩原小学校、美術館・郷土資料館
平成27年3月19日	本納中学校
平成27年3月26日	茂原小学校、中の島小学校

・入学式・卒業式

開催日	訪問先
平成 26 年 4 月 8 日	富士見中学校・茂原中学校・南中学校・早野中学校、西陵中学校
平成 26 年 4 月 9 日	茂原小学校・五郷小学校・中の島小学校・本納小学校、萩原小学校
平成 26 年 4 月 10 日	豊岡幼稚園・五郷幼稚園・新茂原幼稚園・中の島幼稚園
平成 27 年 3 月 11 日	東中学校・富士見中学校・本納中学校・西陵中学校、早野中学校
平成 27 年 3 月 18 日	西小学校・萩原小学校・本納小学校・東部小学校、緑ヶ丘小学校
平成 27 年 3 月 19 日	茂原小学校・鶴枝小学校・新治小学校・豊岡小学校、二宮小学校
平成 27 年 3 月 20 日	豊岡幼稚園・五郷幼稚園・新茂原幼稚園・中の島幼稚園

・教科書採択関係

開催日	内容
平成 26 年 5 月 19 日	第 1 回教科書採択協議会
平成 26 年 7 月 10 日	第 2 回教科書採択協議会

・研修会等

開催日	内容
平成 26 年 4 月 25 日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会総会
平成 26 年 5 月 28 日	千葉県市町村教育委員会連絡協議会定期総会並びに特別講演会
平成 26 年 9 月 24 日	千葉県教育委員会・千葉県市町村教育委員会連絡協議会共催 第 1 回教育委員研修会
平成 26 年 10 月 17 日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会要望書提出
平成 26 年 11 月 12 日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会研修会
平成 27 年 1 月 16 日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会研修会
平成 27 年 1 月 28 日	千葉県市町村教育委員会連絡協議会 第 2 回教育委員研修会

・その他行事等

開催日	内容
平成 26 年 4 月 16 日	市議会教育福祉常任委員会との意見交換会
平成 26 年 7 月 20 日	茂原市立図書館開館式
平成 26 年 11 月 3 日	茂原市教育功労者表彰式、文化祭巡回
平成 26 年 12 月 8 日	海老名市視察及び同教育委員会との意見交換会
平成 27 年 2 月 17 日	茂原市教育委員会学芸・体育功労者表彰式

3 各種施策について

(1) 後期基本計画に基づく施策表

点検・評価は、「後期基本計画」に基づく以下の18施策について実施しています。

章	節	項	細項目	担当課
教育文化（次代を担う子どもたちを育て、すべての人が生涯を通し学習していくまち）	1 生涯学習	1-1 生涯学習の推進	推進体制の確立	生涯学習課
			関連機関との連携	生涯学習課
		1-2 学習機会の充実	学習ニーズに応じた学習機会の充実	生涯学習課
		1-3 生涯学習支援システムの整備	情報提供・相談体制の整備	生涯学習課
			施設・設備の整備・充実	生涯学習課
			読書活動の推進	生涯学習課
	2 幼児教育	2-1 幼児期教育の充実	幼稚園の整備	教育総務課
			教育内容の充実	学校教育課
	3 学校教育	3-1 教育環境の整備	施設の整備	教育総務課
			設備・備品の充実	学校教育課
		3-2 通学環境の改善	適正な通学区域の設定	学校教育課
			3-3 教育内容の充実	学習指導、生徒指導の充実
		個性に応じた指導の充実		学校教育課
		社会環境の変化に対応した教育の充実		学校教育課
		健康教育の充実		学校教育課
		安全教育の充実		学校教育課
		確かな学力の育成		学校教育課
		3-4 特別支援教育の充実	教育体制の充実	学校教育課
		3-5 教職員の資質の向上	研修の充実	学校教育課
	3-6 学校給食の充実	調理場方式の検討	学校教育課	
		効果的な食育の推進	学校教育課	
	4 社会教育	4-1 社会教育施設の整備	公民館の整備	生涯学習課、中央公民館
			図書館の整備	生涯学習課、図書館
		4-2 社会教育の振興	学習機会の拡充	生涯学習課
			団体の育成	生涯学習課
	5 スポーツ・レクリエーション	5-1 スポーツ環境の充実	スポーツ施設の整備	体育課
			スポーツ施設のネットワーク化	体育課
5-2 スポーツ・レクリエーションの振興		市民スポーツの充実	体育課	
		スポーツ団体の育成	体育課	
		指導者の育成	体育課	
		体育指導委員活動の推進	体育課	
		スポーツ情報の提供	体育課	
		6 市民文化	6-1 文化環境の整備	文化施設の整備
身近な活動の場の確保	生涯学習課、美術館・郷土資料館			
6-2 芸術文化の振興	芸術文化事業の充実		生涯学習課、美術館・郷土資料館	
	文化団体・グループの育成		生涯学習課、美術館・郷土資料館	
6-3 伝統・文化の維持継承	文化財の保護・保存		生涯学習課	
	歴史民俗資料の収集		生涯学習課	
	伝統芸能の保存と育成		生涯学習課	
7 青少年健全育成	7-1 青少年健全育成の充実	青少年育成体制の充実	生涯学習課	
		青少年育成事業の充実	生涯学習課	
		環境浄化と非行防止	生涯学習課	

(2) 茂原市の教育方針及び重点施策

本市では後期基本計画に基づく、教育の総合的指針として、毎年度「茂原市の教育方針及び重点施策」を定めています。平成26年度の茂原市の教育方針及び重点施策は以下のとおりです。

平成26年度茂原市の教育方針及び重点施策

本市では、『ゆたかな暮らしをはぐくむ「自立拠点都市」もばら』を将来都市像とし、平成23年から32年までを計画期間とする後期基本計画を策定しています。

茂原市教育委員会では、後期基本計画に基づき、「次代を担う子どもたちを育て、すべての人が生涯を通し学習していくまち」を基本テーマとして各種施策の展開を図ってまいります。

特に、国際化や少子高齢化及び高度情報化の進展、また地方分権が進むなか、教育に対する期待も益々大きくなってきています。そこで教育委員会は、「人づくり」を中心的課題として捉え「茂原の文化を創る心豊かな人づくり」を目標に、平成26年度茂原市の教育方針及び重点施策を次のように定めます。

なお、施策の推進にあたっては、関係機関をはじめ関係団体等との連携を密にするとともに、家庭、学校、地域社会が一丸となり、広く市民の協力を得ながら、教育の充実と文化の向上に努めます。

第1節 生涯学習

来るべき新しい時代に生きる市民が、自らの意志で様々な学習活動に取り組むことを通じて人間を磨き、生きがいをはぐくみ、豊かな人間関係を醸成しながら活力に満ち、充実した生活の実現を目指します。そのため、「楽しく学び、いきいきとふれあう、活力あふれる市民生活の創造」を基本理念に、行政と市民が一体となって、心の豊かさを実感できる生涯学習を推進します。

1 生涯学習の推進

- (1) 第2次茂原市生涯学習推進計画に基づき、生涯学習推進協議会を活用することで、全庁的な推進体制の充実を図ります。
- (2) 生涯学習関連施設、国・自治体や文化・スポーツ施設など、関連機関や団体等と密接な連携を図り、市民の学習要求に対応できるよう協力体制を整備します。

2 学習機会の充実

- (1) 市民カレッジや大学の公開講座を開催し、市民ニーズに対応した学習機会の提供に努めます。
- (2) 市民の要望に応じて、市職員が講師となり、市民生活に必要な知識や情報を提供する職員出前講座の普及を図ります。

3 生涯学習支援システムの整備

- (1) 生涯学習情報紙「ハロータウン」、生涯学習ガイドブック、広報もばらにより生涯学習に関する情報提供に努めます。
- (2) 生涯学習を担う指導者の確保と周知に努めます。
- (3) 公民館をはじめ各学習施設は、学習情報の提供や学習相談、学習事業を研究開発するなど、総合的に学習者を支援できる推進機能の充実を図ります。
- (4) 学社融合の一層の推進に努めます。
- (5) 子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの豊かな感性・情緒を育む読書活動を推進します。

第2節 幼児期教育

豊かな感性と思いやりの心を育み身体の健やかな成長を図るため、幼児の主体的な活動を促し、遊びを通しての総合的な指導の充実に努めるとともに、一人ひとりの発達に応じた幼児期教育の推進に努めます。また、少子化社会への対応を進めるため、幼稚園機能を生かした子育て支援事業を推進し、保護者や地域のニーズに応えるよう努めます。さらに、私立幼稚園に対する助成を実施し、公立・私立のバランスのとれた幼児期教育の振興を図ります。

1 幼児期教育の充実

- (1) 幼稚園等の施設・遊具の改善、修繕など、適切な維持管理に努めます。
- (2) 基礎的な資質や能力の育成を重視した教育課程を編成し、豊かな人間性を培う教育の推進に努めます。
- (3) 小学校への円滑な接続を図るための、幼小連携の体制づくりを推進します。
- (4) 支援を必要とする幼児のニーズに合った支援体制作りや関係機関との連携を推進します。
- (5) 職員の資質向上とチーム保育の推進に努めます。
- (6) 子育て支援事業を実施するとともに、地域に開かれた幼稚園づくりに努めます。
- (7) 幼保一元化を見据え、幼稚園及び保育所の連携の推進に努めます。
- (8) 安全で快適な園生活が送れるよう、施設などの環境整備に努めます。
- (9) 教材備品の充実に努めます。
- (10) 私立幼稚園の保護者負担の軽減に努めます。

第3節 学校教育

子どもたちに基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、それらを活用する学習活動を充実させることにより、思考力・判断力・表現力を育み、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し行動できる「生きる力」を育てる教育を推進します。

また、学校と地域との連携を強めながら地域に開かれた学校づくりを一層推進し、様々な学校活動に地域の協力と意見が反映できるよう、学校評議員制度や学校支援ボ

ランティア制度の充実を図ります。地域全体で子どもたちの健全な成長を担う環境づくりを推進します。

1 教育環境の整備

- (1) 校舎・体育館等の耐震補強を計画的に実施するとともに、学校施設の整備・修繕等を行い施設の安全性の確保を図ります。
- (2) 教育施設、建築設備の安全点検を定期的に行い、児童生徒・利用者の安全確保に努めます。
- (3) 教材備品の充実に努めます。
- (4) 小中学校等の遊具の改善や修繕など、適切な維持管理に努めます。

2 通学環境の整備

- (1) 通学路の安全点検に努めます。

3 教育内容の充実

- (1) 特色ある学校経営と創意ある教育課程の編成に努めます。
- (2) 高度情報化、国際化など社会の変化に対応した教育の推進に努めます。
- (3) 地域との連携を深め、地域に開かれた学校づくりに努めます。
- (4) 道徳教育及び生徒指導の充実と教育相談体制の確立に努めます。
- (5) 望ましい勤労観・職業観の育成を図るキャリア教育の推進に努めます。
- (6) 本に親しむ意欲と態度を育成する読書活動の充実に努めます。
- (7) 各教科及び総合的な学習の時間や特別活動において、多様な体験活動の推進に努めます。
- (8) 健康・安全教育の推進に努めます。
- (9) 防災教育の充実に努めます。
- (10) 奨学資金貸付制度の適正な運用に努めます。

4 特別支援教育の充実

- (1) 特別支援教育の推進と適切な就学指導の充実に努めます。

5 教職員の資質の向上

- (1) 教職員の資質向上を図り学習指導の充実に努めます。

6 学校給食の充実

- (1) 学校給食の充実及び食育の推進に努めます。

第4節 社会教育

身近な生涯学習の場である公民館等の社会教育施設において利用者の立場に立った施設運営や整備に努め、地域における学習・交流の拠点として、活力と潤いのある社会教育を推進します。また、図書館を移転し、指定管理者制度を導入して、更なる図書館機能の充実に努めます。社会教育関係団体については、育成・活動を支援し、指導者の発掘および育成を推進します。

1 社会教育施設の整備

- (1) 社会教育施設の整備を図り、設備等の充実に努めます。

2 社会教育の振興

- (1) 多様化・高度化する学習ニーズに応じるため、学習機会の拡充を図るとともに、楽しく学べる学級講座の充実に努めます。
- (2) 学習成果発表機会の提供に努めます。
- (3) 家庭教育学級の充実に努めるとともに、地域の教育力の活性化に努めます。
- (4) 社会教育関係団体の育成と活動の強化に努めます。
- (5) 読書活動の推進のため、団体育成と各種講座の充実に努めます。
- (6) ブックスタート事業を継続実施し更なる充実に努めます。
- (7) インターネットにより図書の出借の利便を図るとともに、ニーズに応じた情報の収集や提供に努めます。

第5節 スポーツ・レクリエーション

「いつでも、どこでも、だれでも」を合言葉に、市民ひとり1スポーツをめざして気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーションの普及に努めます。また、指導者の有効活用及び団体の育成を図るとともに情報の提供に努め生涯スポーツを推進します。

1 スポーツ環境の充実

- (1) スポーツ施設の整備に努めます。
- (2) スポーツ施設のネットワーク化の推進に努めます。

2 スポーツ・レクリエーションの振興

- (1) スポーツ教室・スポーツ大会の充実に努めます。
- (2) スポーツ団体の育成に努めます。
- (3) スポーツ指導者の有効活用に努めます。
- (4) スポーツ推進委員会を中心に軽スポーツの普及振興に努めます。
- (5) スポーツ情報の提供に努めます。

第6節 市民文化

芸術文化の振興については、文化祭をはじめとした各種芸術文化事業を実施し、市民に享受できる機会を提供するとともに、各種芸術文化団体の充実と市民文化の振興を図ります。

文化財で貴重なものは、指定文化財として保護・保存し後世に伝えるとともに、出土遺物の適切な整理・保管・活用を図り、文化財保護思想の普及を推進します。また、後世に市の歴史を継承することを目的に市史の編纂を推進します。

1 文化環境の整備

- (1) 市民が身近な場所で活動できるよう、美術館・郷土資料館をはじめ各施設との連携を深め、情報交換、施設の有効利用に努めます。

2 芸術文化の振興

- (1) 文化協会の組織充実と連携を図り、文化祭を開催することで市民の文化活動の意欲向上に努めます。

- (2) 親しみのある美術館・郷土資料館づくりとともに、優れた美術品を鑑賞する機会の提供に努めます。
- (3) 市民の音楽・観劇鑑賞や小中学生の音楽鑑賞教室などの芸術・文化に触れる機会の提供に努めます。

3 伝統・文化の維持継承

- (1) 文化財の保護・保存を図り、文化財に対する理解を深め、郷土愛の育成に努めます。
- (2) 文化財を美術館・郷土資料館に展示し、広く市民に公開するよう努めます。
- (3) 郷土芸能発表会などを開催し、伝統芸能保存団体の活動を支援するとともに後継者の育成に努めます。
- (4) 市制施行70周年の市史発刊を目指します。

第7節 青少年健全育成

次代を担う青少年の健全な育成を目指して、広く地域住民の協力を得ながら様々な活動を展開し「心身ともに健やかでたくましい」青少年を育成するための活動を推進します。

また、青少年の非行防止や青少年に有害な社会環境の浄化を推進します。

1 青少年健全育成の充実

- (1) 青少年育成茂原市民会議及び青少年相談員活動の充実を図り、青少年の健全育成体制の整備と機能促進に努めます。
- (2) 子ども会等を通して青少年の奉仕活動・体験活動の推進に努めます。
- (3) 夏休みの子どもの安全・安心な居場所づくりと異学年交流を目的に放課後子ども教室推進事業の充実に努めます。
- (4) 青少年指導センターと関係機関との連携を密にし、非行防止や環境浄化に努めます。
- (5) 携帯電話にひそむ危険性の理解と有害情報から身を守る方法の普及を図り、事故防止に努めます。

4 各施策の点検評価報告書

1-1 生涯学習の推進

平成26年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第1節 生涯学習	担当課	生涯学習課
施策区分	1 生涯学習の推進	記入者	長谷川伊智郎

【施策の概要】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 第2次茂原市生涯学習推進計画に基づき、生涯学習推進協議会を活用することで、全庁的な推進体制の充実を図る。 (2) 生涯学習関連施設、国・自治体や文化・スポーツ施設など、関連機関や団体等と密接な連携を図り、市民の学習要求に対応できるよう協力体制を整備する。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習推進本部や生涯学習推進協議会を活用し、推進体制の強化を図る必要がある。 ・ 市民の多様な学習ニーズに対応するため、関連施設・団体・民間企業との連携が必要である。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多種多様な分野にわたる生涯学習関連事業を体系化し、市民に提供するために全庁的な推進体制の充実を図る。 ・ 国、自治体、文化・スポーツ施設など関連機関や団体等と密接な連携を図り、市民の学習ニーズに対応できるよう協力体制を整備する。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	生涯学習推進事業実績報告書の作成	生涯学習推進事業の検証
	生涯学習推進協議会の開催	年2回開催
	県や大学と連携し公開講座を実施	市民カレッジ全6回、160人参加
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習推進事業実績報告書を作成し、生涯学習推進協議会で現状と課題について協議、全庁的な推進体制の充実を図るとともに今後の事業の内容、方向性等の検討を行った。 ・ 大学の講師派遣事業を利用し、市民カレッジを実施するなど市民の多様な学習ニーズに対応するため、関連施設・団体・民間企業との連携を図った。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習社会の実現を目指し、多様な学習ニーズに対応できる推進体制の整備を図る。 ・ 関連機関や団体とのさらなる連携、協力体制の整備を図る。 	

1-2 学習機会の充実

平成26年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第1節 生涯学習	担当課	生涯学習課
施策区分	2 学習機会の充実	記入者	長谷川伊智郎

【施策の概要】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 市民カレッジや大学の公開講座を開催し、市民ニーズに対応した学習機会の提供に努める。 (2) 市民の要望に応じて、市職員が講師となり、市民生活に必要な知識や情報を提供する職員出前講座の普及を図る。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の学習ニーズは、一段と多様化し、主体的に学習する意欲が高まっている。 ・ 職員出前講座について、学校や各種団体に周知を図り、利用の進を図る必要がある。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県や大学等の関係機関と連携・協力し、生涯各期に応じた学習機会の充実を図る。 ・ 職員出前講座の周知とメニューの充実に努め、さらなる利用の促進を図る。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	市民カレッジ	全6回、160名参加
	城西国際大学公開講座	全6回、134名参加
	職員出前講座	44回実施、1,436名参加
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公開講座において健康、市内の歴史、相続等さまざまな内容の学習機会を提供し、市民ニーズに対応した学習機会の提供に努めた。 ・ 小中学校の児童・生徒を対象にした職員出前講座「茂原学」を実施し、市民生活に必要な知識や情報の提供に努めた。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は公開講座の内容をより専門的にするなど、市民の多様な学習ニーズに対応できるように努める。 ・ 職員出前講座の周知とメニューの充実に努め、さらなる利用の促進を図る。 	

1-3 支援システムの整備

平成26年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第1節 生涯学習	担当課	生涯学習課 各公民館
施策区分	3 生涯学習支援システムの整備	記入者	長谷川伊智郎、市川博幸

【施策の概要】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 生涯学習情報紙「ハロータウン」、生涯学習ガイドブック、広報もばらにより生涯学習に関する情報提供に努める。 (2) 生涯学習を担う指導者の確保と周知に努める。 (3) 公民館をはじめ各学習施設は、学習情報の提供や学習相談、学習事業を研究開発するなど、総合的に学習者を支援できる推進機能の充実を図る。 (4) 学社融合の一層の推進に努める。 (5) 子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの豊かな感性・情緒を育む読書活動を推進する。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報やハロータウン等で生涯学習情報を提供しているが、学習者のニーズに応じた適切な情報提供や相談体制の整備が必要である。 ・ 「講師名簿」に230名の指導者が登録されているが、活用される機会が少なく、周知が必要である。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習ニーズに対応した情報提供、学習情報紙の充実、広報での啓発、情報提供システムおよび相談体制の整備。 ・ 指導者が、学習支援者として活動できる場の確保。 ・ 子どもの読書活動の推進。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	ハロータウンの発行	年3回（市広報1月、7月、10月）
	生涯学習ガイドブックの発行	年1回（5月、各公共施設に配布）
	自主グループ一覧表の発行	年1回（4月、各公共施設に配布）
	公民館主催教室の開催	21教室、2279名参加
	学社融合事業	新治小学校での演劇鑑賞年1回、65人参加
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハロータウン、生涯学習ガイドブック、市広報により生涯学習情報の提供に努めた。 ・ 各公民館で各種教室を開催し、市民の自主的な学習活動を支援した。 ・ 学社融合事業により学校が地域住民の学習活動や地域交流の拠点となるよう努めた。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民への学習情報の提供や相談体制を整備するため、広報や情報紙などを充実させるとともに、市ホームページや相談体制の整備を進める。 	

2-1 幼児期教育の充実

平成26年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第2節 幼児期教育	担当課	教育総務課 学校教育課
施策区分	1 幼児期教育の充実	記入者	渡辺裕次郎・宮内智之

【施策の概要】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 幼稚園等の施設・遊具の改善、修繕など、適切な維持管理に努める。 (2) 基礎的な資質や能力の育成を重視した教育課程を編成し、豊かな人間性を培う教育の推進に努める。 (3) 職員の資質向上とチーム保育の推進に努める。 (4) 子育て支援事業を実施し、地域に開かれた幼稚園づくりの推進に努める。 (5) 幼保一元化を見据え、幼稚園及び保育所の連携の推進に努める。 (6) 環境の整備を図り、健康と安全教育の推進に努める。 (7) 教材備品の充実に努める。 (8) 私立幼稚園の保護者負担の軽減に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ チーム保育により園児の主体的活動や個々の発達に応じた教育を展開するとともに子育て支援事業(ふれあい広場等)を実施し、地域に開かれた幼稚園づくりを推進。 ・ 少子化により園児数の減少が進んでおり、各施設ともに定員割れの状態であることから、公立幼稚園4園の適正化が必要となっている。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的な資質や能力の育成による、豊かな人間性を培う教育の推進 ・ 子ども子育て支援事業計画にかかるニーズ調査を基にしたサービスの向上 ・ 教育課程の編成において必要な教材備品の整備。 ・ 子育て支援も視野に入れた私立幼稚園の保育料助成。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	指導体制確立事業	主体的活動の促進、個々の発達に応じた教育を展開
	教育振興事業	1クラス2名の教員を配置
	子育て支援事業	各園でふれあい広場開催 予算32万4千円
	幼保連携事業	幼保連絡協議会にて講習・講演会等を開催
	環境整備事業	施設維持管理、教育環境の向上
	備品整備費予算計上	予算10万円(1園あたり)
	扶助費支給による就園奨励	就園人数900人(公私立合計)
	取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ チーム保育により、園児の主体的活動や個々の発達に応じた教育を展開した。 ・ 未就園児及び保護者のための遊び場や母親同士の交流の場の提供のため、子育て支援事業(ふれあい広場等)を各園で4~6回/年実施し、延べ約1,400人が参加した。 ・ 就園奨励費補助金支給による私立保護者負担の軽減について、支給対象を拡大した。
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化により園児数の減少が将来的にも深刻であり、公立幼稚園は定員割れの状態で、年々減少していることから、子ども・子育て支援事業計画に基づき、公立施設の適正化を図る必要がある。 ・ 子ども子育て支援新制度に沿った形で、保護者負担の軽減に努める。 	

3-1 教育環境の整備

平成26年度茂原市の基本方針及び重点施策に係る「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第3節 学校教育	担当課	教育総務課
施策区分	1 教育環境の整備	記入者	中村一之

【施策の概要（年度当初）】

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 校舎・体育館等の耐震補強を計画的に実施するとともに、学校施設の整備・修繕等を行い施設の安全性の確保を図る。 (2) 教育施設、建築設備の安全点検を定期的に行い、児童生徒・利用者の安全確保に努める。 (3) 教材備品の充実に努める。 (4) 小中学校等の遊具の改善や修繕など、適切な維持管理に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の基本方針に基づき平成27年度末までに9棟（5校）の学校施設の耐震化を完了する必要がある。 ・ 学校の施設・設備、遊具等が老朽化により修繕を要する箇所が増えている。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度までに残り9棟の耐震化の完了 ・ 学校施設の安全性の確保 ・ 教材備品の充実に努める

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	小中学校耐震補強工事	本納中屋内運動場など15棟(9校) 完成
	小中学校耐震補強工事費予算計上	平成26年度予算計上 17億790万円
	小中学校施設整備 (雨漏り、電気・消防・受水槽・浄化槽等)	工事費42箇所、修繕費43箇所
	小破修繕等	315箇所修繕
	教材備品の充実	予算120万円/1校(中学校) 60万円(小学校)
取組への 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震補強工事は今年度15棟が完成し、残り9棟となった。予算は、H26年度までに8棟分が確保されすでに契約済みである。平成27年度当初予算で残り1棟を予算計上している。今後も入札が不調となる恐れがあるため、不調等に備えた期間設定、予算措置は必要となる。 ・ 施設の修繕に関しても1億円余の工事費を予算計上し、修繕箇所の解消に取り組んだ。 	
今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震化事業は、平成27年度末までに残り9棟完成させ、耐震化率100%とする。 ・ 耐震化事業完了後は施設の大規模改修等を計画的に進め、良好な教育環境の整備を図る。 	

3-2 通学環境の改善

平成26年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第3節 学校教育	担当課	学校教育課
施策区分	2 通学環境の整備	記入者	渡辺裕次郎

【施策の概要】

施策内容	(1) 通学路の安全点検に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 各小学校で危険箇所やこども110番シール貼付家屋等を記入した安全マップを作成し、児童生徒に注意喚起を促している。 学校支援ボランティア等により、登下校時の見守りを実施。 通学路の緊急合同点検箇所については、担当部署で順次対策を実施しているが、中には改善に時間や多額の予算を要する箇所があり、ハード面の対策が遅れている。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の通学路における安全確保

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	通学路安全対策事業	H24緊急合同点検箇所数166、 H24対策箇所数122、 H25対策箇所数12、対策未済32 H26対策箇所数13、対策未済19
	各学校での安全マップの作成	各小学校で作成 14校
	学校支援ボランティア等による登下校時の見守り	各小学校で実施 14校（171人が従事）
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> 合同点検の結果から各関係機関により、危険箇所への計画的な対策が実施された。 茂原市通学路交通安全プログラムにより、警察、長生土木事務所、市役所など関係機関との連携が図られ、通学路の安全対策が円滑に図られた。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 茂原市通学路交通安全プログラムに基づく合同点検を平成27年度に実施する。 	

3-3 教育内容の充実

平成26年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第3節 学校教育	担当課	教育総務課 学校教育課
施策区分	3 教育内容の充実	記入者	松村暁雄・渡辺裕次郎・坂倉みゆき・川崎弘道・宮内智之

【施策の概要】

施策内容	<ol style="list-style-type: none"> (1) 特色ある学校経営と創意ある教育課程の編成に努める。 (2) 高度情報化、国際化など社会の変化に対応した教育の推進に努める。 (3) 地域との連携を深め、地域に開かれた学校づくりに努める。 (4) 道徳教育及び生徒指導の充実と教育相談体制の確立に努める。 (5) 望ましい勤労観・職業観の育成を図るキャリア教育の推進に努める。 (6) 本に親しむ意欲と態度を育成する読書活動の充実を努める。 (7) 各教科及び総合的な学習の時間や特別活動において、多様な体験活動の推進に努める。 (8) 健康・安全教育の推進に努める。 (9) 防災教育の充実を努める。 (10) 奨学資金貸付制度の適正な運用に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化の進展により、小中学校の小規模化が進んでいることから、今後、公共施設等総合管理計画の策定にあわせ、小中学校の適正規模基準による適正配置の方針を決定する必要がある。 ・ 管理職の研修の充実及び、学校支援ボランティアの活用により、特色ある学校経営や地域に開かれた学校づくりに努めている。 ・ 不登校児童生徒の学校復帰につなげる。 ・ 姉妹都市であるソルズベリー市へ中学生等の海外派遣の実施については、平成25年度より第2学年生徒から参加の対象として実施している。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各小中学校の適正規模についての情報を収集する。 ・ 児童生徒が、外国語の発音や異文化に慣れ親しみ、コミュニケーション能力の素地を身に付ける。 ・ 不登校児童生徒を減らす。 ・ 学校支援ボランティア活動の充実を図る。 ・ 子どもたちが情報化社会の進展に主体的に対応できるように育成する。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	特色ある学校づくり推進事業	校長研修会、教頭研修会 合計12回実施
	通学区域の見直し事業	西陵中学校・富士見中学校での選択制制度説明・学校紹介 各1回
	情報教育環境の整備	パソコン整備 1台/3.6人
	ELTの配置	ELT 7名配置
	適応指導教室	豊田教室・五郷教室 年間114日 予算173万2千円
	心の教室相談員事業	豊田小・五郷小・萩原小・東部小 年間56日 予算92万7千円
	学校ボランティア推進事業	ボランティア全体研修会実施 H26感謝状贈呈者14名 (通算10年以上のボランティア従事者)
	職場見学・体験学習	小中学校が連携し、見学と体験を実施
	中学生の海外派遣	中学生派遣28名(3年19名、2年9名)
	読書活動推進事業	平成26年度予算計上:6,123千円
	総合学習推進事業	平成26年度予算計上:5,278千円
	保健管理運営事業	薬物乱用防止教育研修会 21名
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある学校経営や地域に開かれた学校づくりに向け、各学校が保護者や地域の方々、学校評議員等と連携しながら創意工夫に努めた。 適応指導教室では調理実習等も取り入れ、学校に通えない児童生徒の集団適応力を培うことができた。(豊田教室12名・五郷教室9名) 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 少子化により、小中学校の小規模化が進んでいることから、公共施設等総合管理計画の策定にあわせ、小中学校の適正規模基準により適正配置の検討を行う。 海外派遣について、派遣先や研修内容について調査研究を行う。 翌年度のリース更新に伴い、現場のニーズに沿った情報環境を整える。 	

3-4 障害児教育の充実

平成26年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第3節 学校教育	担当課	学校教育課
施策区分	4 特別支援教育の充実	記入者	坂倉みゆき

【施策の概要】

施策内容	(1) 特別支援教育の推進と適切な就学指導の充実に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育支援員の配置や巡回相談・専門家チームの設置により、幼稚園、保育所、小中学校の支援を行った。 年間7回就学指導委員会を開催し、適切な就学指導に努めた。 「就学支援 コスモシート」の配布や、相談支援ファイル「スマイル」の周知を図り、支援体制の整備に努めた。 課題は通常学級の中での特別な支援を要する児相生徒の対応
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育支援員の計画的配置 児童生徒の実情に応じた適切な就学指導

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	特別支援教育支援員の配置	小学校14名中学校3名幼稚園2名配置
	巡回相談の実施	4保育所・3幼稚園・8小学校へ年間3回訪問
	専門家チームの設置	年間3回開催
	就学指導委員会の開催	年間7回開催
	特別支援教育研修会の開催	年間2回開催
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育支援員の配置により、支援を必要とする幼児児童生徒に対し、学校生活での介助や学習活動上の支援を行うことができた。 巡回相談や専門家チームにより対象児童生徒の実態把握・対処方法等について検討することができた。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 今後も特別支援教育支援員を計画的に増員配置していく。 巡回相談・専門化チームを継続し、特別支援教育の充実に努め、児童生徒の能力に応じた適切な就学指導につなげる。 	

3-5 教職員の資質の向上

平成26年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第3節 学校教育	担当課	学校教育課
施策区分	5 教職員の資質の向上	記入者	古山幹夫

【施策の概要】

施策内容	(1) 教職員の資質向上を図り学習指導の充実に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の年齢構成が大きく変化していく状況から、中堅層や若年層の研修の充実が課題である。 ・ 教職員の資質向上のための効果的な研修体系のあり方が課題である。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教務主任や若年層教員の研修を充実させ、資質向上を図る。 ・ 各学校の校内研修及び、茂原市教育研究協議会での研修を充実させ、学習指導の充実に努める。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	教育振興事業	平成26年度予算計上：1,547,000円
	教育研究協議会の開催	年3回開催 参加人数 小273人 中171人 幼27人
	若年層教員研修会の開催	年3回開催 参加人数 39人
	教育講演会の実施	年1回開催 参加人数 346人
	教務主任研修会の開催	年3回開催 参加人数 25人
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「茂原市若年層教員育成研修会」は平成25年度より実施し、今年度は開催回数を1回増やし若年層教員の研修を充実させた。 ・ 全国学力・学習状況調査の結果をもとに、学習指導の改善についての方向性をまとめ、各学校に通知した。 ・ 茂原市教育研究協議会では、各部で講師を招聘するなど研修の充実を開催し、学習指導の充実に努めた。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「茂原市若年層教員育成研修会」では、初任者研修を一部含めた研修内容を取り入れる。 ・ 各学校の研修の充実について、引き続き援助する。 	

3-6 学校給食の充実

平成26年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第3節 学校教育	担当課	学校教育課 中央学校給食共同調理場
施策区分	6 学校給食の充実	記入者	川崎弘道・白鳥朋児

【施策の概要】

施策内容	(1) 学校給食の充実及び食育の推進に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> センター方式、自校方式、親子方式の3方式による給食運営が確立されており、安全で安心な給食を提供している。各施設とも老朽化が著しく、修繕により対応している。 各中学校において工夫された食育に関する授業が展開されている。 食物アレルギーを有する児童生徒及び保護者には、分析表を含む詳細な献立表を配布して、アレルギー事故発生の予防に努めている。また、紙ベースの配布からインターネット閲覧への移行に向けて準備を進める。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食施設の老朽化に伴う対応として、施設の点検修理及び調理機器の点検修繕並びに更新 長生地域米粉パンの継続を求めて「地産地消」の推進に努める。 給食食材放射線測定について、共同調理場・五郷幼稚園に協力を仰ぎながら継続する。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	調理用備品	328万7千円 フードスライサー・軟水器・二重食缶・丸型置き台 等
	給食委託（調理、運搬）	2億2655万6千円 調理：東洋食品 運搬：南総通運
	蒸気回転釜交換工事	1458万円 7基
	調理機器賃貸借	612万5千円食器食缶洗浄機 他3件
	調理場設備備品修繕	732万5千円熱風保管機修理 他40件
	長生地域米粉パン給食推進事業	共同調理場・単独調理校 各2～3回実施
	各小中学校・幼稚園給食食材放射線測定	月1回 小中学校及び幼稚園の食材で実施
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> 共同調理場及び単独調理校（園）ともに老朽化が進んでいることから、「学校給食施設検討委員会」を設置し、茂原市の給食の在り方について計4回会議を実施した。 食物アレルギーについては、児童生徒、担任、保護者とが共通理解し、安全に留意しながら給食を取ることができている。 食物アレルギー対応マニュアルを作成するとともに、養護教諭を対象にエピペン注射の訓練を実施した。 アレルギー用献立は、インターネットを活用して閲覧できるようにし、ネット閲覧できない父兄には、紙ベースでの配布とした。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 茂原市学校給食施設検討委員会から平成27年度内に提言を受け基本方針・基本計画を決定する。 安全安心で豊かな学校給食を安定供給するための施設を整備していく。 「地産地消」の観点から、地元産食材の使用率向上を目指していく。 	

4-1 社会教育施設の整備

平成26年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第4節 社会教育	担当課	生涯学習課 各公民館
施策区分	1 社会教育施設の整備	記入者	長谷川伊智郎、市川博幸

【施策の概要】

施策内容	(1) 社会教育施設の整備を図り、設備等の充実に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 公民館及び社会教育センターは老朽化が進んでおり、公民館は学習環境の整備や時代に即した機器の充実を図っていく必要がある。 旧茂原市立図書館は、老朽化が進み雨漏り等が見られる。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育施設においては、適宜修繕を実施し、利用者に快適な活動の場所を提供する。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	図書館の移転	平成26年7月20日に旧茂原駅前学習プラザで開館 予算 230,939千円
	社会教育センター修繕他	施設の利便性、安全性を図る 予算1,451千円
	中央公民館ガラス修繕他	施設の利便性、安全性を図る 予算414千円
	本納公民館浄化槽修繕他	施設の利便性、安全性を図る 予算767千円
	鶴枝公民館空調機修繕他	施設の利便性、安全性を図る 予算274千円
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の老朽化等への対応として図書館を移転し、指定管理者制度（指定管理者・株式会社 図書館流通センター）を導入することでさらなるサービスの向上に努めた。 社会教育施設は安全な施設の維持管理に努め、利用者の安全性及び快適性の向上に努めた。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育施設は施設設備の更新、修繕をおこない、利用者に不便をかけないようにする。 	

4-2 社会教育の振興

平成26年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第4節 社会教育	担当課	生涯学習課
施策区分	2 社会教育の振興	記入者	長谷川伊智郎

【施策の概要】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 多様化・高度化する学習ニーズに応じるため、学習機会の拡充を図るとともに、楽しく学べる学級講座の充実に努める。 (2) 学習成果発表機会の提供に努める。 (3) 家庭教育学級の充実に努るとともに、地域の教育力の活性化に努める。 (4) 社会教育関係団体の育成と活動の強化に努める。 (5) 読書活動の推進のため、団体育成と各種講座の充実に努める。 (6) ブックスタート事業を継続実施し更なる充実に努める。 (7) インターネットにより図書の貸出の利便を図るとともに、ニーズに応じた情報の収集や提供に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の学習ニーズが多様化・高度化しており、今後の課題として、質の高い学習内容や様々な学習機会を提供する必要がある。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ より一層の学習成果を上げられるようにし、社会教育の振興を図る。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	子育て講座	全14回（各小学校）、705人参加
	家庭教育学級	全58回、2,163人参加
	社会教育団体への助成	4団体 626,000円
	おはなし会ボランティア養成講座	全6回、52人参加
	おはなし会／赤ちゃんと一緒のおはなし会	全12回、158人／126組参加
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て講座・家庭教育学級は多くの参加があり、事業を通して社会教育の振興が図られた。 ・ 養成講座を受講したボランティアは、各小学校で読み聞かせを実施し活躍した。 ・ おはなし会を実施することにより本への関心が高まり、図書館の利用者が増加した。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館は指定管理者に引き継がれるため、図書館サービスの質の低下を招かぬよう努める。 ・ 多様な学習機会ニーズに応えるため、様々な情報提供に努めながら学習機会の拡充を図る。 ・ 社会教育関係団体指導者の育成を図り、社会教育団体の活動支援に努める。 	

5-1 スポーツ環境の充実

平成26年度茂原市の基本方針及び重点施策に係る「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第5節 スポーツ・レクリエーション	担当課	体育課
施策区分	1 スポーツ環境の充実	記入者	内山俊樹

【施策の概要】

施策内容	(1) スポーツ施設の整備に努める。 (2) スポーツ施設のネットワーク化の推進に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 市民体育館は開館（建築）から30年以上が経過しており、施設の老朽化が激しく修繕を要する箇所が年々増えている。 トレーニング機器をはじめ、各用具の旧式器具から新規器具への入替え、また環境美化が求められている。 市民体育館受付管理システムにより、市民体育館・市営野球場・市営庭球場の予約管理を一元化しているが、野球場・庭球場とは距離が離れており、利用者に不便を与えている。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設の安全性の確保とスポーツ環境の充実を目指す。 体育館内外の環境美化の充実を図る。 更なるネットワーク化の推進により、利用者の利便性の向上を図る。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	市民体育館施設整備（大体育室雨漏り補修等）	9月補正588万6千円
	消防設備・体育器具等修繕	141万8千円
	市民体育館環境美化業務委託	103万1千円
	市民体育館受付管理システムによる予約一元管理	市スポーツ施設の貸出・予約管理を市民体育館で一元管理
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> 最低限必要な個所の修繕を行い環境整備に努めた。 昨年度に引き続き市民体育館環境美化業務委託を行い、館内外の環境美化に努めた。 市民体育館・市営野球場・市営庭球場の予約管理の一元化により、利用者の問い合わせ等に一元的な対応でき利便性を確保している半面、距離が離れていることから利用者に施設間の移動等の負担を生じさせる結果となっている。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化により年々修繕箇所が増加している状況であるため、今後は公共施設白書に係る茂原市公共施設総合管理計画に基づき施設の維持管理に努める。 健康志向の高まりや、高齢者・障害者のニーズに応えるため、老朽化している体育器具のリニューアルについてリース等様々な角度から検討する。 予約管理の一元化について、野球場・庭球場の予約管理を今後は体育館だけでなく、野球場・庭球場でも予約が可能となるように検討する。 	

5-2 スポーツ・レクリエーションの振興

平成26年度茂原市の基本方針及び重点施策に係る「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第5節 スポーツ・レクリエーション	担当課	体育課
施策区分	2 スポーツ・レクリエーションの振興	記入者	内山俊樹

【施策の概要】

施策内容	<ol style="list-style-type: none"> (1) スポーツ教室・スポーツ大会の充実に努める。 (2) スポーツ団体の育成に努める。 (3) スポーツ指導者の有効活用に努める。 (4) スポーツ推進委員会を中心に軽スポーツの普及振興に努める。 (5) スポーツ情報の提供に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民ニーズに応じた各種スポーツ教室を開催。 ・ 体育協会・スポーツ少年団の活動支援を行っているが更なる支援が必要。 ・ 市民体育祭や県民体育大会への選手派遣を通じて、競技力の向上を図っている。 ・ スポーツ推進委員会が主体となって、軽スポーツの普及・振興を図っているがスポーツ推進委員会が不足しており募集を図るも増員に結び付かない。 ・ スポーツもばら等を活用して、スポーツ情報の提供に努めている。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民のスポーツに親しむ機会を提供し、市民ひとり1スポーツを目指す。 ・ 茂原市体育協会・茂原市スポーツ少年団の組織強化を図るとともに更なる競技スポーツと地域スポーツの振興を図る。 ・ スポーツもばら等を通じ定期的なスポーツ情報の提供に努め市民の関心を促す。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	各種スポーツ教室の開催	少年少女柔道教室・ヨガ教室等の開催
	第63回市民体育祭の開催	8月～11月の期間、23競技3,959人参加
	ファミリースポーツまつり等の開催	スポーツ推進委員会主催で開催、合計475人参加
	体育協会・スポーツ少年団活動支援	体育協会1,822千円、スポ少50千円
	スポーツ情報の提供	スポーツもばら3回発行・HPにて情報提供
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会加盟団体やスポーツ推進委員会とも連携を取り、大会や教室を開催。多くの市民が参加し、競技力の向上およびスポーツの振興、健康増進が図れた。 ・ スポーツ関連の情報を提供することで、市民のスポーツに接する機会を増やし、また大会結果等を掲載することにより、選手の意欲向上を図ることができた。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健センター等庁内関係部局と連携を図り、スポーツと健康結びつけた教室等のイベントの開催を検討する。 ・ スポーツ推進委員会を充足し、更なる市民スポーツの振興を図る。 	

6-1 文化環境の整備

平成26年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第6節 市民文化	担当課	生涯学習課 美術館・郷土資料館
施策区分	1 文化環境の整備	記入者	東間一博・舛田隆満

【施策の概要】

施策内容	(1) 市民が身近な場所で活動できるよう、美術館・郷土資料館をはじめ各施設との連携を深め、情報交換、施設の有効利用に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度からは、第3月曜を除いて月曜開館を行うなど、広く市民に来館頂けるよう、施設の適切な維持管理に努めている。竣工20年を迎え、主な設備更新工事、修繕は概ね完了しつつあるが、収蔵庫が飽和状態となっている。 生涯学習情報を提供しているが、学習者のニーズに応じた適切な情報提供や相談体制の整備が必要である。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> 市民の文化活動の場の提供、設備の維持管理、修繕。 学習ニーズに対応した情報提供、学習情報紙の充実、広報での啓発、情報提供システムおよび相談体制の整備。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	美術館内設備の交換工事、設備修繕	受電設備、トイレ、空調加湿器、エレベーター、消防設備
	新収蔵資料のくん蒸	予算1,950千円
	市民会館冷温水発生機漏洩修繕他	施設の利便性、安全性を図る 460千円
	生涯学習ガイドブックの発行	年1回（5月、各公共施設に配布）
	自主グループ一覧表の発行	年1回（4月、各公共施設に配布）
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> 受電設備の更新工事、洋式トイレへの改修工事を行い、施設の適切な維持管理と来館者へのサービス向上に努めた。 収蔵庫内の整理をすすめるとともに、新収蔵資料のくん蒸を行い資料の保管保全に努めた。 生涯学習ガイドブック、自主グループ一覧表により生涯学習情報の提供に努めた。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 今後も施設、設備の適切な維持管理に努める。 新収蔵資料のくん蒸を今後も継続し、資料の保管保全に努める。 市民への学習情報の提供体制を整備するため、情報紙を充実させる。 	

6-2 芸術文化の振興

平成26年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第6節 市民文化	担当課	生涯学習課 美術館・郷土資料館
施策区分	2 芸術文化の振興	記入者	東間一博・舛田隆満

【施策の概要】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 文化協会の組織充実と連携を図り、文化祭を開催することで市民の文化活動の意欲向上に努める。 (2) 親しみのある美術館・郷土資料館づくりとともに、優れた美術品を鑑賞する機会の提供に努める。 (3) 市民の音楽・観劇鑑賞や小中学生の音楽鑑賞教室などの芸術・文化に触れる機会の提供に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化協会加盟団体は増加しており、引き続き組織充実と文化祭の充実が必要である。 ・ 新収蔵となった林功画伯、木内キミ江画伯の日本画作品に代表されるように収蔵資料が充実し、優れた美術品の展示が可能となった。共催展示・文化祭等で美術展示室を使用するため、美術収蔵品展の常設展示ができない時期がある。 ・ 市民を対象とした歌舞伎等の鑑賞会、小中学生を対象とした音楽鑑賞教室を開催している。今後も市民ニーズに対応した企画や活動補助の充実が求められている。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化協会の組織及び文化祭の充実。 ・ 各展覧会の開催により、来館者に芸術文化に親しんで頂く機会を提供する。 ・ 市民が芸術文化に触れる機会を充実させることで、市民の文化活動の意欲を向上させる。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	茂原市文化祭	美術館・郷土資料館等10会場で開催
	小中学生音楽鑑賞教室	7校（5小学校、2中学校）で開催
	芸術文化鑑賞教室	ミュージカル2回、歌舞伎4回、228人参加
	美術収蔵品展、芸術文化講座の開催	林功展等8回、美術実技講座5回、 歴史セミナー2回開催
	美術館各共催団体の展示	15回開催
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茂原市文化祭を美術館、郷土資料館等10会場で開催した。なお、小中学生、幼稚園、保育所児童の作品については、会場確保の問題から12月に開催することで発表の機会を確保した。 ・ 収蔵美術品の目玉となる林功画伯の日本画作品は、年間の各収蔵品展への展示出品に努め、鑑賞の機会を増やしたほか、新収蔵作品による木内キミ江展では七夕まつりとの連携企画を行うなど、より有意義な展覧会企画に努めた。共催展示の各日程を工夫し、広く市民の文化活動の発表の場として、より親しみやすい美術館・郷土資料館となるよう努めた。 ・ 小中学生音楽教室は、各校独自に企画し、楽器の生演奏を聴く機会を提供した。 ・ 芸術文化鑑賞教室は、全6回開催し、多くの参加者を得た。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化祭については、文化協会と連携を深め、事業の充実を図る。 ・ 今後も展示内容を工夫した魅力ある展覧会の開催により、優れた美術品を鑑賞できる機会の提供に努める。 ・ 小中学校音楽教室は、開催校の意見を聞きながら事業の充実を図るとともに、市内演奏家の活用の増進を図る。芸術文化鑑賞教室については、市民ニーズに対応した企画立案を図る。 	

6-3 伝統・文化の維持継承

平成26年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第6節 市民文化	担当課	生涯学習課 美術館・郷土資料館
施策区分	3 伝統・文化の維持継承	記入者	東間一博・舛田隆満

【施策の概要】

施策内容	<ol style="list-style-type: none"> (1) 文化財の保護・保存を図り、文化財に対する理解を深め、郷土愛の育成に努める。 (2) 文化財を美術館・郷土資料館に展示し、広く市民に公開するよう努める。 (3) 郷土芸能発表会などを開催し、伝統芸能保存団体の活動を支援するとともに後継者の育成に努める。 (4) 市制施行70周年の市史発刊に向け市史編纂事業を推進する。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の天然記念物であるミヤコタナゴ、ヒメハルゼミ発生地環境整備活動を地元住民や地元小学校と協力し実施した。引き続き、生息地の環境整備や保護保存意識の高揚が求められる。また、市内に現存する文化財の調査を実施し、文化財の散逸防止や保存活用が求められる。 ・ 年間の常設展示の中で、国府関遺跡の木製品、下太田貝塚の出土品などの文化財を展示しているほか、テーマ展を開催。収蔵する文化財資料は17,000点と膨大であり、全てを展示するのは困難である。 ・ 七夕祭り開催中に、郷土芸能発表会を開催し、お囃子や獅子舞などの郷土芸能の保存活動を支援したが、演者の高齢化により活動継続が困難な団体がある。 ・ 市史編纂への基礎調査として古文書の調査、整理を進めるとともに、古文書講座の開催、古文書史料集の発行を行った。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民や所有者等と協力し、生息環境や保存活用の更なる向上を目指す。 ・ より身近な視点で文化財に触れて頂き、その保護思想の普及に努める。 ・ 郷土芸能保存団体との連携を密にし、郷土芸能の保存を図る。 ・ 既存の古文書の調査、整理のほか、新たな資料の収集。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	ミヤコタナゴ生息地、ヒメハルゼミ発生地環境整備	地元住民と環境整備等実施、地元小学生と調査活動実施
	市指定文化財の新規指定	藻原寺大堂大絵馬1件指定
	郷土芸能発表会	七夕祭りにて4団体が発表
	常設及びテーマ展の開催	(常設)文化財展示、(テーマ)年3回開催
	古文書の調査整理、講座開催、史料集発行	予算552千円
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民や地元小学生と協力し、環境整備や調査活動を行い天然記念物の保護に対する意識の高揚を図った。また、市指定文化財を1件指定し公表することにより文化財に対する理解を深めた。 ・ 郷土資料館テーマ展を年3回開催し、できるだけ多くの文化財の展示公開に努めた。 ・ 郷土芸能発表会を開催し、伝統芸能の保護保存を図った。 ・ 古文書目録を作成するとともに貴重な史料については翻刻作業を行った。また、歴史伝承への理解を深めて頂くため、古文書講座を開催した。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天然記念物の保護に関しては、環境整備により保護が図られていることから地元住民等との協力体制の更なる充実を進める。また、市内に現存する文化財の調査、指定、保存を進めていく。 ・ 郷土資料館にて今後も広く文化財の展示公開に努める。 ・ 郷土芸能保存団体と協力し、郷土芸能発表会の参加団体の増加を図る。 ・ 古文書については、所在の確認調査を行い、保存に努める。また、歴史伝承への理解を深めて頂くため、古文書講座を継続する。 	

7-1 青少年健全育成の充実

平成26年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	第7節 青少年健全育成	担当課	生涯学習課 青少年指導センター
施策区分	1 青少年健全育成の充実	記入者	森康博、長谷川順一

【施策の概要】

施策内容	<ol style="list-style-type: none"> (1) 青少年育成茂原市民会議及び青少年相談員活動の充実を図り、青少年の健全育成体制の整備と機能促進に努める。 (2) 子ども会等を通して青少年の奉仕活動・体験活動の推進に努める。 (3) 夏休みの子どもの安全・安心な居場所づくりと異学年交流を目的に放課後子ども教室推進事業の充実を努める。 (4) 青少年指導センターと関係機関との連携を密にし、非行防止や環境浄化に努める。 (5) 携帯電話にひそむ危険性の理解と有害情報から身を守る方法の普及を図り、事故防止に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年育成茂原市民会議、青少年相談員や青少年指導センターを中心に青少年の健全育成を図っている。今後の課題として、少子化、核家族化、情報の氾濫等、青少年を取り巻く環境の変化に対応する必要がある。
求める成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ きまりやルールを守り、仲間同士の友情を深めることを通して、人間性豊かな人格形成を援助する。 ・ 社会教育活動や地域の人々の協力を得て、青少年健全育成を促進する。 ・ 青少年のたまり場や交友関係などの情報収集に努め、非行防止に役立てる。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	第10回ふぁみりーグラウンドゴルフ大会	124人参加
	第39回茂原市つつじマラソン大会	758人参加
	第25回少年の主張大会	279人参加
	第20回僕と私のジャンピング大会	579人参加
	成人式	717人参加
	街頭啓発補導	実施回数：342回、補導者：215人 補導参加者：907人
	少年相談	159件（うち不審者報告：42件）
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種事業を通して多くの参加者や運営に関わる役員等の参加により、青少年育成に関して理解が図られた。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種事業内容の取り組みを検証し、改善を進めることでより多くの参加者を確保し、事業を通して青少年育成体制の充実、青少年育成事業の充実、さらには環境浄化と非行防止を図る。 	

教育委員会の点検評価報告書（平成26年度事業対象）

発行日 平成27年4月

発行 茂原市教育委員会

編集 教育部教育総務課

〒297-8511 茂原市道表1番地

電話：0475-20-1557

メール：k-syomu@city.mobara.chiba.jp